

地域別 作付け体系例

東北・高冷地向き

1月2月3月4月5月6月7月8月9月10月11月12月年間収量(トン)

1 早播きトウモロコシと晩夏播きエンバク

堆肥の投入が冬間に余裕を持ってでき、トウモロコシの播種も早春からできる。(注)積雪のない地域

ニューデント100〜スノーデント115 1.6〜1.7トン(6トン) ウルトラハヤテ豊駄天スーパーハヤテ準 0.6トン(3トン) 2.2〜2.3(9)

2 トウモロコシとライムギ

子実多収な高カロリータイプのトウモロコシとライムギの組合せ。

スノーデント110〜118R 1.5〜1.6トン(5〜6トン) 品種 春一番・春香 0.8〜0.9トン(5〜6トン) 2.3〜2.5(10〜12)

3 ロールベール用多収体系

スーダングラスとライムギの乾物多収な組合せ。バラ播きで除草剤が不要な省力栽培。

リッチスーダン・ハイスーダン 0.9〜1.0トン(5トン) 品種 春一番・春香 0.7〜0.8トン(5トン) 1.6〜1.8(10)

関東中部地域向き

1月2月3月4月5月6月7月8月9月10月11月12月年間収量(トン)

1 早播きトウモロコシと晩夏播きエンバク

台風被害のリスクが少なく安定多収な体系。堆肥の投入も余裕で楽々。

スノーデント115、125T、SH4812 1.7〜1.8トン(6〜7トン) ウルトラハヤテ豊駄天スーパーハヤテ準 0.7トン(3トン) 2.4〜2.5(9〜10)

2 夏作トウモロコシとイタリアンライグラス

夏作と冬作の組合せの定番メニュー。堆肥の投入も春秋2回できる。

スノーデント118R、125T 1.7〜1.8トン(6〜7トン) タチユウカ、タチマサリ、タチムシヤ 0.9〜1.1トン(5〜6トン) 2.6〜2.9(11〜13)

3 トウモロコシ+ソルガムの混播

春1回の播種で晩秋まで収穫できる安定多収省力体系。晩秋刈りの再生ソルガムは台風にも強く糖分も高い。

スノーデント110〜118R + ハイグレソルゴー 1.6〜1.8トン(6〜7トン) ソルガム再生草 0.8〜1.0トン(3〜4トン) 2.4〜2.8(9〜11)

乾草生産、ロールベールサイレーズ利用向きの作付け体系例

良質な繊維の給与は搾乳牛から丈夫な子牛の育成まで欠かせません。高価な輸入乾草より良質な繊維を自給しましょう。

1月2月3月4月5月6月7月8月9月10月11月12月年間収量(トン)

1 ロールベール用多収体系

スーダングラスとイタリアンライグラスを組合わせて台風にも強く、バラ播きで除草剤も不要な安定多収で省力的な体系。

リッチスーダン・ハイスーダン 再生草 1.0トン(6トン) 0.6トン(4トン) タチユウカ、タチマサリ 1.0トン(5トン) 3.0(17)

飼料用イネの裏作に適する牧草、飼料作物の作付け体系例

1月2月3月4月5月6月7月8月9月10月11月12月年間収量(トン)

1 飼料用イネとイタリアンライグラス

飼料用イネ専用収穫機が利用可能で年間の収穫量、稼働率が向上。

飼料用イネ 1.2〜1.5トン(3〜4トン) タチユウカ、タチマサリ 1.7〜2.3(6〜8)

注) イタリアンライグラスはフレール型収穫機での利用に適します。

西・南・暖地向き

1月2月3月4月5月6月7月8月9月10月11月12月年間収量(トン)

サイレーズ利用に最適な作付け体系例

作りやすく多収で、高TDN・高品質なサイレーズができるトウモロコシを中心とした体系で、飼料代を節約し収益アップをはかりましょう。

1 トウモロコシ二期作栽培

高カロリー、高品質で嗜好性・産乳性の良いトウモロコシサイレーズを年2回生産。

スノーデント110〜118R 1.6〜1.8トン(5〜7トン) スノーデントおとほ、夏皇 1.5トン(5トン) 3.1〜3.3(10〜12)

2 早播きトウモロコシと晩夏播きエンバク

台風被害のリスクが少なく安定多収な体系。堆肥の投入も余裕で楽々。

スノーデント125T、SH4812、おとほ 1.8〜2.0トン(6〜8トン) ウルトラハヤテ豊駄天 0.7トン(3トン) 2.5〜2.7(9〜11)

3 トウモロコシとイタリアンライグラス

夏作と冬作の組合せの定番メニュー。堆肥の投入も春秋2回できる。

スノーデント125T、おとほ、夏皇 1.6〜1.8トン(6〜7トン) タチユウカ、タチマサリ、タチムシヤ 0.9〜1.1トン(5〜6トン) 2.5〜2.9(11〜13)

4 トウモロコシと晩夏播き麦類+イタリアンライグラスの混播

高カロリーのトウモロコシと麦+イタリアンライグラスの混播連続収穫で省力栽培。

再生草 0.8〜1.0トン(4〜5トン) スノーデント125T、おとほ、夏皇 1.6〜1.8トン(6〜7トン) ウルトラハヤテ豊駄天 又は 雪印ワセドリ2条+タチユウカ 又は 雪印タチムシヤ 0.5〜0.6トン(2〜3トン) 2.9〜3.4(12〜15)

5 トウモロコシ+ソルガムの混播

春1回の播種で晩秋まで収穫できる安定多収省力体系。晩秋刈りの再生ソルガムは台風にも強く糖分も高い。

スノーデント118R + 雪印ハイグレソルゴー 又は 雪印ハイブリッドソルゴー 1.6〜1.8トン(5〜7トン) ソルガム再生草 1.2〜1.4トン(5〜6トン) 2.8〜3.2(10〜13)

乾草生産、ロールベールサイレーズ利用向きの作付け体系例

良質な繊維の給与は搾乳牛から丈夫な子牛の育成まで欠かせません。高価な輸入乾草より良質な繊維を自給しましょう。

1月2月3月4月5月6月7月8月9月10月11月12月年間収量(トン)

1 乾草生産用体系

乾きの早い暖地型牧草「雪印なつ乾草」とイタリアンライグラス「雪印タチムシヤ」の組合せ。

雪印なつ乾草(1作目) 1.0トン(5トン) 雪印なつ乾草(2作目) 0.5トン(3トン) 雪印タチムシヤ 1.0トン(5トン) 2.5(13)

2 ロールベール用多収体系

スーダングラスとイタリアンライグラスを組合わせて台風にも強く、バラ播きで除草剤も不要な安定多収で省力的な体系。

再生草 0.4トン(2トン) リッチスーダン、ハイスーダン、ネオウマウー 1.1トン(7トン) 再生草 0.7トン(5トン) 雪印タチムシヤ 又は 雪印タチマサリ、タチユウカ 1.0トン(5トン) 3.2(19)

青刈り利用向き作付け体系例

肉牛繁殖から乳牛まで幅広く利用できます。

1月2月3月4月5月6月7月8月9月10月11月12月年間収量(トン)

1 ソルガムとイタリアンライグラスの組合せ

再生力に優れ、長期収穫できる青刈り利用向きの組合せ。

再生草 再生草 雪印シュガーグレイズ、雪印短尺ソルゴー 合計1.5〜2.0トン(8〜10トン) タチユウカ+マンモスイタリアン8(混播) 3.0〜3.5(18〜20)

飼料用イネの裏作に適する牧草、飼料作物の作付け体系例

飼料用イネ専用収穫機が利用可能で年間の収穫量、稼働率が向上。

1月2月3月4月5月6月7月8月9月10月11月12月年間収量(トン)

1 飼料用イネとイタリアンライグラス

飼料用イネ専用収穫機が利用可能で年間の収穫量、稼働率が向上。

飼料用イネ 1.2〜1.5トン(3〜4トン) タチユウカ、タチマサリ 1.7〜2.3(6〜8)

注) イタリアンライグラスはフレール型収穫機での利用に適します。

22

23